つながれ広がれNPOの輪

〈市民公益活動団体リレートーク❶〉

特定非営利活動法人 奥州・いわてNPOネット

「点」が線になり線が面になる。つながると活動は広がるんです」と、奥州・いわてNPOネット（以下、NPOネット）の専務理事を務める菅原恵子さんは語ります。

NPOネットは、NPO同士の情報や活動をつなぐ「中間支援NPO」で、平成18年に設立しました。NPOの自立や法人化などを支援し、今までに9つの法人の立ち上げにかかわっています。

NPOの存在が世間に認識され始めたころ。県が平成17年にNPOを対象に行ったアンケートでは『胆江地域を結びつけるNPOがほしい』という意見が8割を占めたそうです。当時は多くのNPOが、団体の運営や活動方法に悩みを感じていました。

夜には振興局にある〝KADARU〟スペースでの勉強会に集まり、悩みなどを語り合う。そのような活動の中から、胆江地域初の中間支援NPOが生まれたのです。

現在は、市から市民活動支援センター事業を受託し、メイプル地下で専従職員4人を含む9人で運営しています。

NPOネットの活動の基本は①情報を発信すること②情報を集めてくること――の2つ。「さまざまな情報をつないでいくと新しいものができて、レベルの高い活動ができるようになっていく。その過程を見ることが幸せ」といいます。

その良い事例が、企画や事業を支援して5年目になる「北上川のモクズガニ放流事業」です。旧前沢町の団体などが稚ガニを放流していることを知り、NPOネットが北上川中流域の数団体に声を掛けたところ、4団体が連携して事業を行うことになりました。連携ができたことで川全体が抱える課題も明確になり、活動範囲も川の上流から下流まで全域へと広がったのです。

NPOネットは、自立・共生・相互支援型社会の実現にむけて、市民活動に参加する人たちが困ったり、悩んだりしたときに頼れる存在を目指し、今日も奔走しています。

■特定非営利活動法人奥州・いわてNPOネット（市民活動支援センター☎FAX㉒4200）

わたしたちが皆さんをサポートします

interview

奥州・いわてNPOネット
理事長
佐藤　隆 さん

ひとりでやれば面倒なことも、みんなでやれば、楽しくやれる。ここにNPOの意義があります。NPO間の交流があれば、学び合い協力することができ、社会的な力となります。NPOをつなぎ支援したいと考えています。ボランティア活動の大切さを理解する人が多くなりましたが、その志を生かしていきたいと思います。

大曲の水辺に夢をつくろう会
事務局長
千葉　幹夫 さん

モクズガニの放流事業では、NPOネットが各団体の思いと情報を上手につないでくれました。取り組みへの気持ちを応援してくれる、そんな組織を待っていました。中間支援を行う組織は県内でも珍しいのでは。NPOネットの仕事は、団体同士の横の連携をつくるほかに、次の世代へと事業をつなぐ、縦の連携もつくっていると感じます。

NPOとは…市民公益活動団体のこと。NPO法人やボランティア団体など「公益的な活動を、自発的に継続して行う民間非営利組織」の総称です

NPO伝言板

市内のNPO活動をお知らせします。
情報の掲載を希望する場合は、市民活動支援センター（☎FAX㉒4200）までお問い合わせ下さい。

●サケの自然産卵見学会
期間：10月20日㈬～11月5日㈮
場所：江刺区稲瀬地区の川原
（江刺大橋の上流300㍍）
内容：やぐらを組みサケの産卵を間近で観察。3日㈬は午前10時～正午に、いものこ汁の振る舞いあり
問い合わせ：水先花沢渡船場川辺自然公園を整備する会（☎㉟5454）

●地域で暮らす障がい児者のための援助システムセミナー
日時：11月13日㈯午後1時～4時45分
場所：水沢公民館（託児有り）
内容：幼児期の援助で重事なこと
問い合わせ：NPO法人地域ふれあいステーションひだまり（☎㊼3711）

●まちづくりコーディネーター養成講座
期間：11月6日㈯、27日㈯、28日㈰、12月18日㈯、1月15日㈯、16日㈰
時間：午前9時半～午後4時半（予定）
場所：市民活動支援センター
内容：NPO・地域づくり関係者・行政職員を対象とした、合意形成や相互理解、コミュニケーション技術を学ぶ講座
問い合わせ：NPO法人奥州・いわてNPOネット（☎㉒4200）

NPOヒアリング調査にご協力を
10月から23年3月にかけて、奥州・いわてNPOネット職員がNPOや町内会を訪問・調査しています。調査にご協力をお願いします。